

科目名		建築特講			
担当教員		野口 信彦・廣田 邦昭		実務授業の有無	○
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	建築空間の表現・伝達に必須である設計の表現方法の一つとして必要な①デッサン（鉛筆）又はRevit Architecture ユーザー試験のいずれかを選択。② j w_cadの操作方法習得のいずれかを選択し、履修後 jw_cadの項目で、合流する。				
学習目標（到達目標）	エスキスの習熟度を上げ設計提案のノウハウを体得するところを目的とします。また、建築士が必要とするスキルにあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①REVIT検定対策本 ②デッサン資料・やさしく学ぶjw_cad使用				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	選択1 デッサン（鉛筆）・（選択授業） ①立体をイメージし、構築していく上での、デッサン			方法：デッサン力を身に付ければ、形状認識の能力も上がり、手書きパースによるプレゼンの一手法として活用する。	
	選択2 Revit Architectureユーザー試験 ①Revit検定対策授業			方法：対策本をもとに検定対策を実施し、合格を目指す。課題→講評→解説を繰り返すことでスキルを身に付け、合格基準到達を目指す。	
2	・ jw_cad ①2次元C A Dのjw_cad			方法：2次元C A Dのjw_cadを基礎から学びます。他のC A Dも他授業で学んでいますが、製図版で書く手書き製図感覚で操作できるjw_cadをココで学びます。	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題評価	取組姿勢			デッサンと、Revit、いずれか選択し、その後、jwcadで合流する授業形態となっている。いずれも、建築にとって重要な要素のため、選択の際に、適切な説明やアドバイスが必要。 REVIT検定に合格しより実践的な使い方を身につけて下さい。デッサンの必要性を感じて欲しい。また、手軽に使える j w	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	野口 信彦:設計事務所にて設計業務に11年従事 廣田 邦昭:店舗設計、現場管理に41年従事				